

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX:08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

猛暑つづきの夏 花や木も草原もみんな耐えています

8月になって雨らしい雨もなく、お盆も過ぎてしまいました。秋吉台も干からびそうです。コオニユリやタカサゴユリが咲いても、花が長持ちせずすぐに散ります。いつもなら濃い緑の草が風になびいている烏帽子岳も緑色が薄くなりました。頂上付近では、もっと過酷な状況になっていると思われます。しかし、枯れそうになった大きい草の陰では、リンドウやムラサキセンブリなどの秋の草花たちが、細々ながら力を蓄えて、着々と開花の準備をして、その時を今か今かと待っているようです。



季節の草花 「キキョウ」 秋の七草のひとつ きりっとした姿が美しい

多年草のキキョウは、青紫色まれに白色の花を咲かせます。ササなどの茂みからすくっと立ち上がるように伸びて開花しているようすは印象に残ります。花は自分の雄しべからは受粉せず、他の花の花粉をもらいます。そのためか八重咲きなどの変化のある花を見かけることがあります。根はサポニンを含み、漢方薬や民間薬で「桔梗根」といって、古くから利用されてきました。また、根は漬け物にして食べられますが、手間暇がかかる割には、あまりおいしくないそうです。しかし、機会があれば食べてみたいような気がします。



ウバユリの一生

林内に群生することも…「私たちのことかしら…」

ウバユリは、林などの中の少し暗いところに自生しています。ユリの花にしては幾分地味なせいも、庭などに植えられていることはほとんどないようです。何時だったか、遊歩道で年配のご婦人数名に出会いました。山歩きをしているような服装ではありませんでした。その中のお一人が「この艶のあるきれいな葉っぱは何かしら？」といわれたので「ウバユリですよ」と答えると「まあ、私たちのことかしら・・・」。詮索はしませんが、思い出の一つです。



地域の催し(5月26日)

田んぼアート「赤郷の赤」

地元の赤郷小学校が今年度で閉校となります。その閉校行事の一環としてみんなで「田んぼアート」を行いました。赤郷の「赤」の部分には、千数百年前から朝廷に献納されてきた伝統ある赤米の種を、保存会から分けていただいて苗を仕立てました。田植えが終わって少し成長したところをドローンで見ると、変な形の「赤」に見えますが、赤郷小学校の運動場から見ると良く見えるように設計したとのこと。穂が出そろえばきれいな「赤」が鮮やかに見えることでしょう。実りの秋が楽しみです。



ニホンイシガメがやって来た

…可愛いカメの赤ちゃん誕生…

二反田の村上さんの自宅の庭に6月6日、ニホンイシガメが硬い土を掘って、直径10cmほどの穴を作り、その中に卵を産み付けました。うすいピンク色のウズラの卵くらいです。外敵に捕られないようにとザルで覆いました。暑い日差しが照りつける猛暑の中、ゆで卵にならないか心配していましたが、8月19日の朝、無事に5匹の赤ちゃんが生まれました。甲羅は約3cmで、ゴソゴソと動きまわって「かわいい!!」そのものです。(写真の一部は村上さんに提供していただきました。)



9月の行事

9月22日(土) 秋の植物観察「秋吉台花めぐり」

たこさんの案内で秋吉台・真名ヶ岳を散策して初秋の花を楽しみます。